



少子高齢化社会に向かいつつある中で、当地区の高齢化率も31%を超え、高齢者層の健康維持は重要な課題となってきています。また、食生活や医療技術の発展により長寿化してきており「人生100年時代」という言葉も常識の時代となってきました。

一方、生産年齢人口の減少に伴い、次世代への負担をできる限り少なくしていかなければなりません。このことから地域の方々とふれあい、身体を動かすことが、健康寿命をのばすために重要となります。コミュニティとしても、健康長寿で生きがいのあるまちづくりを積極的に推進してまいります。

計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数 (時期)	実施予定
敬老会	コミュニティセンターで80歳以上の方の長寿をお祝いする	生活福祉部 自治会長	9月	
親子料理教室	コミュニティセンターで親子で料理を作り会食をする	生活福祉部 食生活改善	8月	
男性料理教室	コミュニティセンターで男性が料理を作り会食をする	生活福祉部 食生活改善	12月	
いきいきサロン	各地区でのいきいきサロンに助成	生活福祉部	6月	
介護予防体操	コミュニティセンターで介護予防のための体操教室を行う	生活福祉部 地域包括支援センター	毎月1回	
健康講座	講師を招きコミュニティセンターで講演会を行う	生活福祉部 市健康課	1回/年	
健康相談	コミュニティセンターで保健師に健康状態を相談する	市健康課	毎月1回	
チャレンジウィーク	指定された1日の中で、スポーツ教室等で運動を体験する	体育部	5月	
富熊健康ウォーク	地域の史跡を巡るウォーキング大会	体育部	1回/年	
グランドゴルフ大会	ゆうとびあ綾歌でグランドゴルフをする	体育部	2回/年	
運動教室	講師を招き運動の基本を学び、体験する	体育部 市健康課	1回/年	
ペタンク大会	ゆうとびあ綾歌でペタンク大会を行う	体育部	2回/年	

健康で生きがいのあるまちづくり



当地区は比較的災害の少ない地域でありましたが、近年の異常気象等により、予想もしない災害が訪れる可能性も否定できない状況となっています。これらの災害に迅速に対応し、被害を最小に留めるには、日ごろからの知識習得・訓練等が不可欠です。

また、核家族化による高齢者のみの住宅の増加や後継者不足による空き家などが増加傾向にあります。

そしてこれらを狙った悪質な犯罪行為も増えてきています。いずれも常日頃から柔軟に対応できるようにしていかなければなりません。いつでもだれでもすぐ参加できる事業に、コミュニティとして取り組んでまいります。

計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数 (時期)	実施予定
防災研修会	講師による防災に関する研修会	自主防災会 自治会長	7月	
防災訓練	災害を想定して小学生と一緒に訓練や体験実習を行う	自主防災会 住民	9月	
交通安全研修会	交通安全・振り込め詐欺などの講習会	老社会 住民	8月	
信号無視撲滅 キャンペーン	富士見坂下の交差点で信号無視の防止の呼びかけ	防犯環境部 学校関係者 役員 他	9月	
防犯パトロール	各種団体に依頼して、毎日下校の見守りを行う	防犯環境部 各種団体	4月～3月 学校稼働日	
地域のおじさん おばさん運動	下校時間に合わせて、通学路で見守りを行う	自治会登録者	第1・3水曜日	
イヌ・ネコのフ ン対策	自治会回覧で呼びかけ	防犯環境部	秋、10月頃	
通学路の安全対 策	「スピード落とせ」の横断幕を小学校の塀に取り付け			検討
イノシシなどの 害獣対策	自治会回覧で呼びかけ	防犯環境部	秋、11月頃	
富熊地区防災計 画の策定	防災計画書を策定する	自主防災会		今後実施
青パト更新	クラウドファンディングを利用して青パトを更新購入する	防犯環境部		検討



安全安心の暮らしを支えるまちづくり



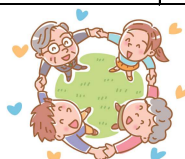
高齢化や核家族化の進行により、家庭内でのコミュニケーションが希薄になっています。自治会活動においても、時代の変化に伴い縮小傾向が続いています。しかし、地域をよく知り互いに交流を深めることは、日常の生活において悪質犯罪の被害防止や災害被害の防止などにつながる重要な要素ではないでしょうか。

コミュニティは、様々な事業を通じて地域の人々の「輪を広げる」ために活動し、笑顔あふれるまちづくりを目指します。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数（時期）	実施予定
人権擁護研修会	コミュニティセンターに講師を招き、講演を聞く	育成部 老社会	12月	
竜山大学	毎回講師を招いて講演を聞き、実技を行う	老社会	9回/年	
いきいきサロン	各地区公民館で地域の福祉団体が主催しサロンを開く	民生委員 福祉ママ 福祉協力員	随時	
友愛訪問	要支援者（独り暮らしの高齢者等）宅を訪問	民生委員	3回/年	
コミュニティまつり	生涯学習成果の発表の場としておまつりを行う	実行委員会	11月（隔年）	
夏まつり	コミュニティ職員やPTA等が中心となって子ども育成のための夏まつりを行う	実行委員会 PTA 学校支援ボランティア 富熊つなぐ隊	8月（隔年）	
生涯学習クラブ	全17クラブがそれぞれ実施	各クラブ	随時	
交通の利便性の向上	福祉タクシー			検討
ボランティアの公募	地域ボランティアを募集する			検討
新規自治会	新しい団地を中心に自治会の発足を促す			検討
コミュニティ自治会	コミュニティ自治会の発足			検討



ふれあい・助け合いのまちづくり



子どもたちを巻き込む悪質な犯罪が全国各地で多発し、人と人とのつながりが希薄になり、無関心を装う傾向にあると思われます。

子どもの育成においては、家庭と地域が一体となって、健全な発育に協力することが大切といえます。

コミュニティは豊かな地域環境をつくるために活動していきます。



計画事業（実施団体）

事業名	事業内容	実施団体	実施回数 (時期)	実施予定
サツマイモの栽培	富小2年生と富保園児、住民でサツマイモ栽培（JAの指導）	総務部 住民	5月～10月	
あいさつ運動	校門で登校する児童に挨拶をする（見守り）	育成部 各種団体	月1回	11回/年
うどん交流会	富保年長組との交流	老社会	1月	
子ども会団体助成	11地区子ども会への助成・支援事業	育成部	6月	
富保修了・富小卒業祝い	修了・卒業時での記念品の贈呈	育成部	2月	
子ども防災科学クラブ	4年生以上の希望者に、防災の知識、科学の基礎知識（プログラミング、ものづくり）を学ぶ	育成部 協力者	奇数月	5回/年
読み聞かせ学習支援	読み聞かせとミシン学習の支援（富小）	学校支援ボランティア富熊つなぐ隊	随時	
子育て支援事業	ピーチtoひよこ園児とのふれあい（富保）	愛育班	第2・第4木曜日	
夏休み宿題支援	夏休みの宿題で、工作・絵画・自由研究などを手助け	育成部 ボランティア	7月	
夏休み天体観測	小学生とその家族を対象に「宇宙のふしぎ」の話と「星空」の観測をおこなう	育成部 ボランティア	8月	



地域と子どもがかがやくまちづくり

第4章 資料集

1. 富熊校区の概要

【位置】

富熊校区は、丸亀市の南東に位置し、瀬戸内内陸部で一年を通して温暖な気候に恵まれています。

南方に四国山脈、讃岐山脈を望み台風等自然災害も比較的受けにくい地域であります。

冬は季節風が強く吹き、寒い日が多くなりますが、氷点下になることは少なく、春から夏にかけては日照時間が多くなって乾燥します。

夏は高温で蒸し暑く、梅雨と台風シーズンには雨が中心となります。降雨量は比較的少なく、日照時間が多いために空気は乾燥しますが、温暖で四季の変化に恵まれた暮らしよい気候です。

【歴史】

大東川流域は、昔から水量が豊かで、古代には条里制が敷かれていた典型的な水田地帯です。庄や次見地区からは弥生式の土器も発見されております。東の丘陵にある「陣の丸古墳」は、尾根の上に、一基の方墳を挟んで、二基の前方後円墳が向き合っている珍しい古墳で、昭和48年には県の指定文化財になっています。古墳時代の早い時期に築かれたもので、当時この地区には、かなりの勢力があったものと推測されています。

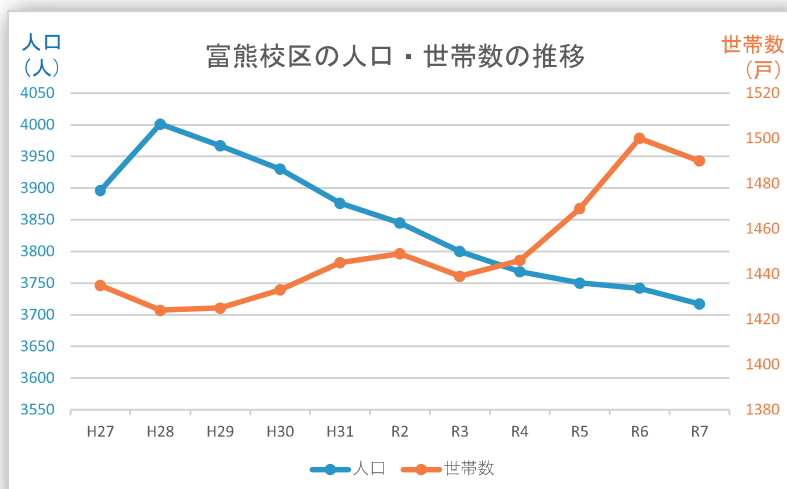
讃岐国府がおかれたころには鵜足郡のなかの栗熊郷（現在の栗熊、富熊）に含まれていました。荘園制度や検地に基づく年貢の制度などの豪族や武士の時代を経て、明治の近代的な町村制度が敷かれました。明治8年の人口は1890人、世帯数は420戸であり、およその状況が推測されます。明治11年には鵜足郡は、隣の阿野郡と連合して、阿野鵜足郡となり、富熊村もその中に含まれることになりました。

明治32年には、阿野鵜足郡が廃止され綾歌郡が誕生しました。

戦後は昭和26年4月1日に富熊村は、栗熊村と合併して久栄村となり、同日、久万玉村に改称されました。そして8年後の昭和34年には、岡田村と久万玉村が合併して綾歌町が誕生しました。平成時代になり、平成17年には旧丸亀市、飯山町と合併し、新丸亀市が誕生し、綾歌町富熊としてその中に含まれることとなり、現在に至っています。

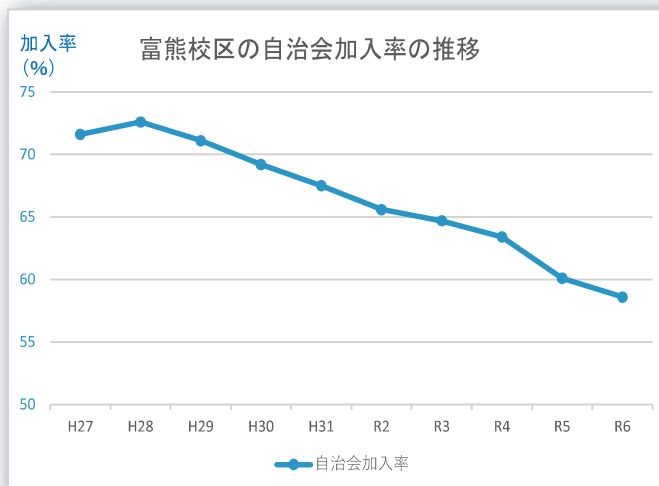
【 人口 】

近年、富熊地区においても農地の宅地化が進み、新しい団地や住宅が建設・建築されています。それにより、世帯数としては平成28年以降増加傾向にあります。しかし、その人口流入にもかかわらず、人口は平成28年以降は下降の一途をたどっています。



【 自治会加入率 】

自治会の加入率も、近年低下を続けています。平成28年に72.6%であったものが、令和6年には58.6%にまでなっています。上図の人口の推移のグラフと見比べて見ると、たいへんよく似ています。



【 公共施設 】

当地区には、以下の公共施設があります。

- ・ 教育施設 富熊小学校、富熊保育所
- ・ 消防 第15分団屯所
- ・ 用水 次見配水池、富士見坂配水池・ポンプ、大原配水池、奥川内配水池
- ・ 施設 富熊コミュニティセンター、同分館（ゆうとぴあ綾歌）

【 コミュニティセンター 】

当コミュニティセンターは昭和56年に建設され、老朽化が著しく、その対策が必要となっています。令和6年度には耐震診断が実施され、避難所にも指定されているなかその対応が急務となっています。

現在、丸亀市のコミュニティセンターは、当センターと川西を除けばほぼ全てのセンターが改修されています。

新しく整備する場合には立地条件なども含めて、住民の意見も反映したセンターの計画とする必要があります。

【 神社・仏閣 】

当地区には、次のような神社・仏閣があり、昔から行われていた行事も少し形を変えつつも今なお継続して取り行われています。

イ) 神社

横山神社・富隈神社・富隈地神社・次見神社・正八幡宮・石鎚神社・大川神社・八頭神社・城光溪神社

ロ) 寺院

万福寺・円光寺・勝縁寺・吉祥寺

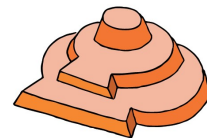
【 遺跡 】

イ) 荒神・地蔵・石碑

油山の行基さん・大原のタグリ荒神・大原の木折荒神・次見の浦谷祠・奥川内の聖天さん・奥川内のエイボハン・葛西祠・井伊の地荒神・霊神さん・立江地蔵・本村のちち薬師・高木南邸先生の墓・伊予見地蔵・桜荒神・竜王山・吉田ト山の顕彰碑・煙草 記念碑塔

ロ) 古墳

陣の丸古墳・横山経塚古墳群・横峰古墳群



【 年中行事 】

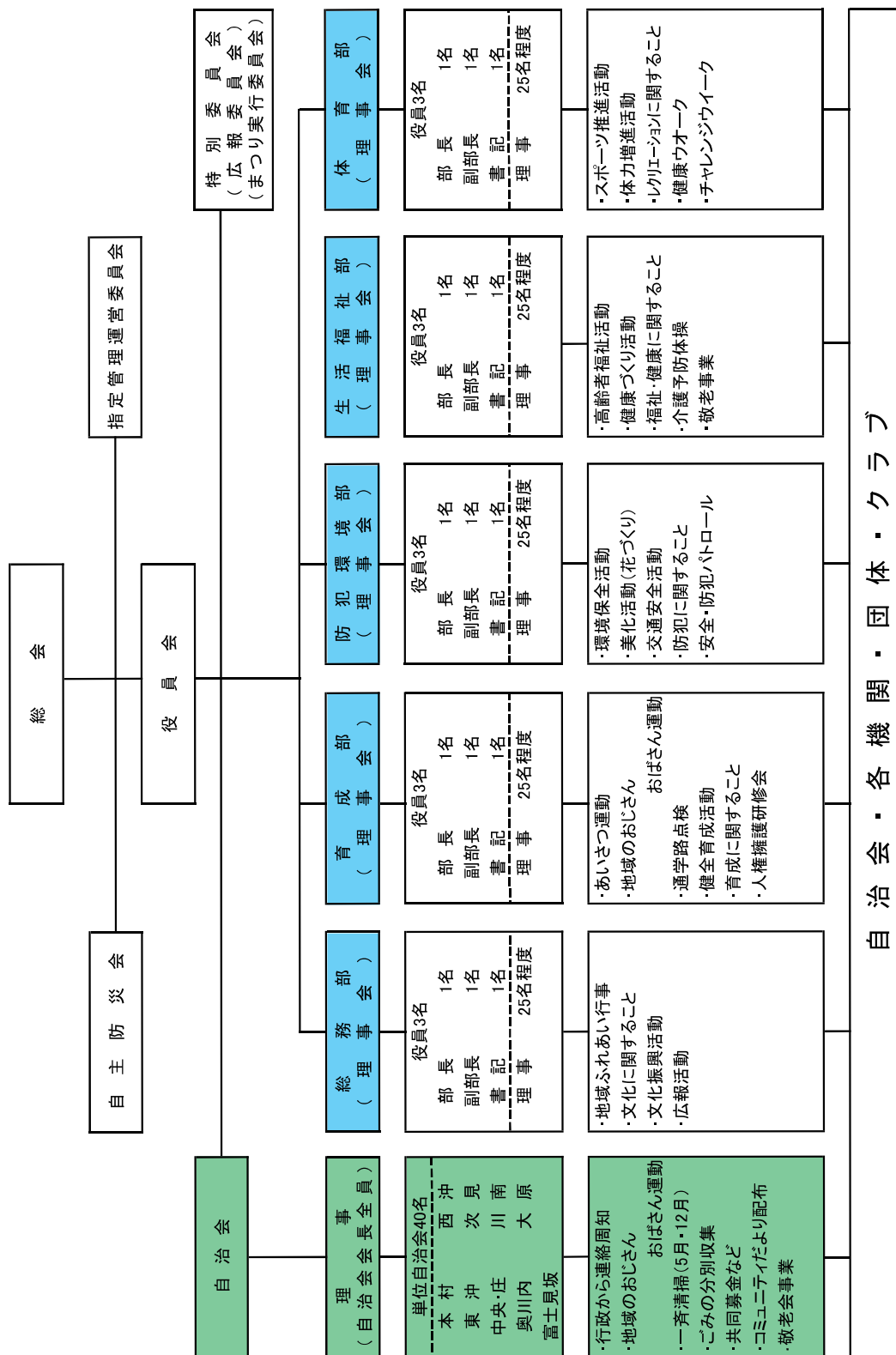
- ・ 正月行事 元日、初荷、書初め、御用始め、七草、成人の日、鏡開き、小正月
- ・ 春行事 節分、ひな祭り、百手祭り、社日、お彼岸、端午の節句
- ・ 夏行事 半夏生、大祓い、土用、丑の日、七夕、お盆、盆踊り、灯籠流し
- ・ 秋行事 午節句、秋の大祭、地神さんのまつり
- ・ 冬行事 冬至、餅つき、出初め式、針供養 等



2. 年表

年代	日本・世界の出来事	綾歌・富熊のできごと
昭和	26	富熊村と栗熊村が合併、久万玉村が誕生
	34	岡田村と久万玉村が合併、綾歌町が誕生
	38	岡田・久万玉中学校を廃校し綾歌中学校となる
	39 東京オリンピック	
	42	富熊小学校のプールと音楽教室完成
	45 日本国際博覧会（大阪万博）	
	46	大原地区県営パイロット事業が開始
	47 札幌冬季オリンピック、沖縄返還	富熊小学校新校舎完成、保育所が現在地に移転
	48 オイルショック	
	49 香川用水通水式	
	53 瀬戸大橋起工式	
	54	富熊小学校屋内運動場完成
	59	富熊農村研修センター完成
	61	富士見坂団地第一工区の造成工事開始
	63 瀬戸大橋完成	
平成	1	綾歌ニュータウン完成
	2 東西ドイツ統一	富士見坂団地第二工区の造成工事開始
	3 ソビエト連邦が解体	テーマパーク「レオマ」が開園
	5 第48回国民体育大会東四国大会	国体バレーボール（家庭婦人の部）町内で開催 富熊小学校新校舎完成
	6	ゆうとびあ綾歌完成
	7 阪神淡路大震災	
	8	綾歌町総合文化会館（アイレックス）オープン
	9 第12回国民文化祭かがわ'97	国民文化祭「民謡民舞の祭典」アイレックスで開催
	10 長野冬季オリンピック	富熊小学校125周年誌発行
	11	富熊小学校 プール完成
	13	国道32号綾歌バイパス一部供用開始
	15	竜王山に遊歩道が完成
	17 日本国際博覧会（愛知万博）	平成の大合併で、丸亀市綾歌町となる 富熊校区コミュニティ協議会発足 新嘗祭斉田田植式（松永雪男氏）
	19	有線放送廃止
	21 裁判員制度発足	
	22	第1次富熊コミュニティまちづくり計画発刊
	23 東日本大震災	
	24 東京スカイツリー完成	
	26	富熊コミュニティ大名行列参加
	27	第2次富熊コミュニティまちづくり計画発刊
令和	28 北海道新幹線開業	
	30	第1回夏まつり開催
	2 新型コロナウイルス感染拡大	第3次富熊コミュニティまちづくり計画発刊
	3 東京オリンピック	
	5	富熊小学校150周年祭典開催
	7 大阪・関西万博	第4次富熊コミュニティまちづくり計画発刊

3. 高熊コミュニティ組織図



4. 計画策定委員一覧表

NO.	氏 名	所 属
1	丸尾 良一	富熊校区コミュニティ協議会会長
2	神野 博之	富熊老壮連合会会長
3	三好 昌宏	丸亀警察署綾歌交番署長
4	金重 美智子	環境美化推進委員
5	吉村 悦子	愛育班班長
6	長谷川 勝子	食生活改善推進委員会会長
7	白川 常俊	綾歌中学校校長
8	玉岡 優子	富熊小学校校長
9	近藤 千鶴	あやうたこども園園長
10	河野 恵	富熊保育所所長
11	萱原 正己	富熊校区コミュニティ協議会副会長
12	藤井 唯弘	富熊校区コミュニティ協議会総務部長
13	安藤 州一	富熊校区コミュニティ協議会育成部長
14	木村 猛	富熊校区コミュニティ協議会防犯環境部長
15	金丸 倫代	富熊校区コミュニティ協議会生活福祉部長
16	守谷 孝之	富熊校区コミュニティ協議会体育部長
17	入屋 岩義	富熊地区自主防災会統括指揮者
18	吉田 正則	富熊地区民生委員会会長
19	丸尾 育代	富熊地区民生児童委員代表
20	高尾 晶子	福祉ママ富熊代表
21	山下 宏幸	富熊校区学校支援ボランティア富熊つなぐ隊代表